

夏期特別展 相模川流域の横穴墓

7月20日～8月30日

平塙市宮ノ入横穴墓の線刻画



○講演会「余綾・大住郡の横穴墓」

講 師 杉山博久先生

8月18日（日）13時30分から

●史跡めぐり「大磯丘陵の横穴墓」

講 師 鈴木一男先生

▶くわしくは中ページをごらんください

# ◆◇7月の行事◇◆

1	月	(休館日)
2	火	プラネタリウム(幼稚園団体)
3	水	(7月11日までの、火水木曜日)
4	木	
5	金	
6	土	プラネタリウム、土曜観察会 古文書講読会、
7	日	プラネタリウム、地層観察会、 緑の国勢調査
8	月	(休館日)
9	火	
10	水	
11	木	デッサン教室
12	金	デッサン教室
13	土	プラネタリウム、石仏を調べる会
14	日	プラネタリウム
15	月	(休館日)
16	火	緑の国勢調査
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	夏期特別展「相模川流域の横穴墓」 古文書講読会
21	日	プラネタリウム、地層観察会
22	月	(休館日)
23	火	
24	水	自然観察入門講座「貝化石を調べよう」 プラネタリウム、
25	木	プラネタリウム、「貝化石を調べよう」 体験学習「麦から細工」
26	金	自由研究相談会、星を見る会
27	土	プラネタリウム、石仏を調べる会 「貝化石を調べよう」
28	日	プラネタリウム
29	月	(休館日)
30	火	
31	水	(休館日)



## ●寄贈品コーナー「火山の活動」

期間 6月15日～7月30日

内容 三宅島などの火山の活動と、溶岩、火山弾、火山灰などの噴出物について展示します。

☆ ☆ ☆ ☆                    ★ ★ ★ ★  
**夏休みのプラネタリウム**

★ ★ ★ ★                    ☆ ☆ ☆ ☆

## ●夏休みの投影テーマ

「こと座ものがたり」

夏の空高く輝くこと座は、言いつくせぬ物語を私たちにむかって語りかけているみたいです。ギリシャ神話に語られる、この星座の伝説を紹介しましょう。

毎日の夜見られる星座と星たちの見方、「こと座ものがたり」、「ハレー彗星情報」の内容で毎回投影します。

## ○投影開始時刻

	水曜日	木曜日	土曜日	日曜日
団体	11:00	11:00	11:00	
一般	14:00	14:00	14:00	11:00

一般向け観覧券は、当日の朝9時より一階受付で発売します。また、団体投影で空席がある場合は、空席分を発売します。

## ○団体観覧の予約

夏休み期間中の、水曜、木曜、土曜の午前11時の回は、団体投影用です。

団体で観覧をご希望の方は、博物館管理係へ電話でご予約下さい。20人以上で団体扱いとなります。料金は3割引となり、1人70円です。

# 行事案内

## ●史跡巡り参加募集

特別展「相模流域の横穴墓」の開催にあわせて、大磯町に所在する横穴墓群を歩いてみます。

日時 8月17日(土)

講師 鈴木一男氏(大磯町教育委員会学芸員)

申込み 参加希望の方は、8月7日までに、往復はがきに住所・年令等を明記して、博物館までお申込み下さい。(多數の場合は抽選)

## ●体験学習「麦から細工」

麦からを使って、虫カゴを作ります。

日時 7月25日(木)

場所 博物館科学教室

申し込み 往復はがきで、7月13日までに博物館へ。申し込み多數の場合は、抽選により40名まで。

## ●体験学習「縄文土器を作ろう」

遺跡から出土した土器と同じものを作ります。

日時 8月13・14・15日の3日間連続

場所 博物館科学教室

定員 20人

対象 一般

申し込み 往復はがきに、住所・氏名・年令等を明記の上、7月31日(必着)までに博物館へ。

## ●星を見る会

### 「惑星と月を見よう」

7月26日(金)18時30分~20時

### 「夏の星座」

8月6日(火)18時30分~20時

### 「惑星と月を見よう(2)」

8月27日(火)18時30分~20時

場所 博物館科学教室・屋上

博物館の望遠鏡で観察します。参加自由。

## ●自然観察入門講座「貝化石を調べよう」

二宮層と大磯層の貝化石を調べます。

日時 7月24、25、27日 9時~16時  
(雨天中止)

場所 大磯町虫窪、大磯町西小磯、博物館

対象 小学校4年生以上

申し込み 7月10日までに、往復はがきで博物館へ。申し込み多數の場合は、抽選により30名まで。

## ●自然観察入門講座

### 「水生生物で川の汚れを調べる」

川の石や砂の間でくらしている、昆虫などの小動物を調べ、その種類から川の汚れを知る方法を学びます。

日時 8月27日(火)~29日(木)3日間

場所 27・28日 野外調査

(金目川、相模川)

29日 まとめ(博物館)

対象 小学校5年生以上

申し込み 8月10日までに、往復はがきで博物館まで。多數の場合には抽選で30人。

## ●水彩教室

水彩絵具を用いて基礎的描写訓練をします。

日時 7月23日(火)~27日(土)5日間

対象 一般成人30人

(5日連続で出席できる方優先)

申し込み 7月10日までに、往復はがきで博物館まで。年令・電話番号等を明記して下さい。

## ●自由研究相談会

夏休みの自由研究について、考古・歴史・民俗・美術・生物・地質・天文の各分野の学芸員が、資料やまとめ方の相談に応じます。

日時 7月26日(金)、8月23日(金)

10時~15時

場所 博物館科学教室

# 来た！ハレー彗星

## ハレー彗星を見た

ハレー彗星が近づいてきます。今、地球から約6億kmのかなたにありますが、1秒間に20kmの速さでやってきています。

ハレー彗星は、私たち人間のはば一生の年月に近い76年周期で太陽のまわりをまわっている大彗星です。人は一生のうちで一度、運の良い人で二度しかハレー彗星とめぐりあえないことになります。

ハレー彗星が太陽のまわりをまわるようになつたのは、太陽系の歴史ではごく最近と考えられますが、それでも人類の記録に登場したのが紀元前240年。中国の史記に記されて以来、30回もその雄姿を見せています。そして人類はごく最近まで恐怖の念を持って見上げていたのです。

ところで、前回の接近は1910年（明治43年）でしたが、その時に見た、という記憶をお持ちの方から、お手紙をお寄せいただきました。以下にその内容を記します。

瀬川 はま子（82歳）

年月日など覚えてはいませんが、暑くもなく寒くもない時のあまり深夜ではなかつたように思います。

場所は山口市道場門前の家の時で、家の庭では松などがあつてよく見えなかつたためです。父につれられて前の道路を少しよけた所から空を仰ぎました。あたりには家の屋根が沢山ですが、あまり空の真ん中ではなくて少し北に寄つた所に見えたようでした。

西の方に頭の先があるようで、竹ぼうきのように東の方に次第に拡がつて、次第に光がぼやけていました。

両親もすごく感動しているようで、私も子供心になんと立派なおもしろい光だな、と思いました。あまり高い高い遠方のことでもないような感じだ

ったのは、こちらが幼かつたからでしょう。

その時あまり他の人達は見えなくて、私達だけで見てたようです。私くらいのお友達に尋ねるのですけれども、誰に聞いて見てもそんなの見なかつたと私をがつかりさせて下さるばかりです。そのころの情報の乏しさからでしょうか。

今一度幸運に見られたら本当にうれしいのですが、あんなに大きくなつきり見ることは出来ないような気がします。

当時は今ほど情報が発達しておらず、新聞を読む人も少なかつたようで、見なかつた人も多かつたようです。

近くにハレー彗星を見た、という記憶をお持ちのお年寄りがおられたら、お話を聞いてみてください。そして博物館に御一報いただければ幸いで

ハレー彗星を見上げる人たち

（明治43年5月21日の東京朝日新聞のさし絵）



出・ん 叫・子・被・  
ま・さ・き・を・此・  
し・合・眼・が・  
か・り・つ・氣・  
ま・す・る・太・仕・  
か・け・か・脚・角・  
か・け・か・脚・脚・  
ス・ラ・イ・姿・  
セ・ア・シ・小・  
シ・さ・ン・手・  
シ・や・ガ・手・  
は・何・を・